みなさんこんにちは。この春、情報測量学科を卒業し、朝日航洋株式会社に就職しました能登恭祐です。これまで一人暮らしをしたことがなく、関東に配属されたことで慣れないことが多いですが楽しくやっています。

現在、会社では研修を受けています。ビジネスマナー、コンプライアンス、ドクターヘリなど朝日航洋でしかできない研修があるので毎日が楽しみです。また、グループで考えることが多いのでコミュニケーションが大切です。そこは関西弁でカバーしています。

研修で学んだ事はこれからの社会人としての土台となるので一生懸命がんばっています。早く会社の一員として社会貢献でき続けるよう精一杯努力していきます。

この春、情報測量学科を卒業し、株式会社日建技術コンサルタントに勤める今田直樹です。

社会人として会社に勤めるようになって早2ヶ月が過ぎようとしていますが、いまだスーツでの出勤に馴染めず、様にもなっていない状態です。

会社では、屋外で器械を用いた測量作業をするという意味での仕事が非常に少なく、時間がある関係上、器械やCADの使い方など先輩が懇切丁寧に教えてくださることを一言一句聞き漏らすことなくメモをとりながら、自分なりに理解して復習するというように、勉強させていただいている状態です。

よって、現在は会社の歯車として何一つとして役立っていない状況ですが、一刻も早く仕事を覚えて、近畿測量専門学校で学んだ知識を実践に活かし、測量技術者として活躍したいと思います。

今春、測量専門学科を卒業した長尾裕子です。私は入学前まで働いていた地盤調査・施工会社で工事事務として働くうちに技術者になりたいという思いが芽生え、近畿測量専門学校に入学しました。学校生活は、授業や課題は難しかったですが、同級生達に教えて貰ったり、放課後に先生に教えていただいたりと楽しく貴重な経験ができ、周りの皆さんのおかげで卒業できたと痛感しています。

卒業後は、兵庫県神戸市に本社がある株式会社新土木開発コンサルタントに入社し、現在は開発部に所属しています。業務内容は、開発行為を行う上で必要な書類作成、図面作成が主で、現場にて用地測量補助も担当しています。都市計画法や建築基準法などの法的知識から施工時における知識まで多岐にわたる知識が必要な部署で日々勉強の毎日です。

分からない事ばかりで上司や先輩にご迷惑をかける毎日ですが、これからも勉強を続け、会社や社会に貢献していきたいと思っています。

【コラム】測量にドローンの活用が始まる

平成27年9月に航空法の一部が改正され、昨年12月10日からドローン等の飛行ルールが新たに導入された。また、国土地理院では無人航空機（UAV:Unmanned aerial vehicle　通称、ドローン）で円滑かつ安全な測量ができるように、「UAVを用いた公共測量マニュアル（案）」及び「公共測量における安全基準（UAVの使用に関する安全基準（案）」が作成され、今年3月30日に公表された。これらのマニュアル（案）及び安全基準（案）は、公共測量だけでなく、現在　国土交通省が進めるi-Constructionに係る測量作業において適用することを前提にしており、国土地理院ではi-Constructionの推進に寄与するため、UAVを測量に活用するための環境整備を行っている。

＊

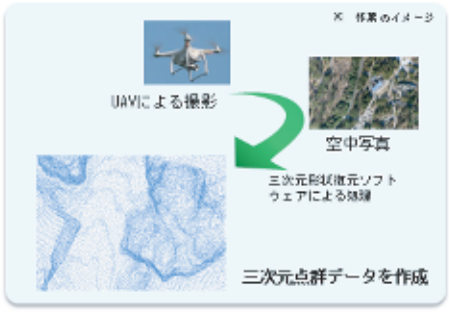
過去、日本でもラジコンを用い農薬散布や遺跡調査の空撮などに使用されてきた実績がある。ラジコンとUAVの違いは、前者は機体を常に制御しなければならず熟練の操作技術を要した。一方、後者はプログラムにより指定した飛行ルートに従い機体を自動制御しながら撮影を行い、離陸地点に帰還するため離着陸以外の操作は基本的に不要であることが違う。現在、小型UAV用レーザースキャナーを搭載したUAVを用いて地形、渓谷のマッピング、都市環境調査などに活用されており、新たなセンシングのプラットフォームとしてUAVの実用化は急速に進んでいる。

＊

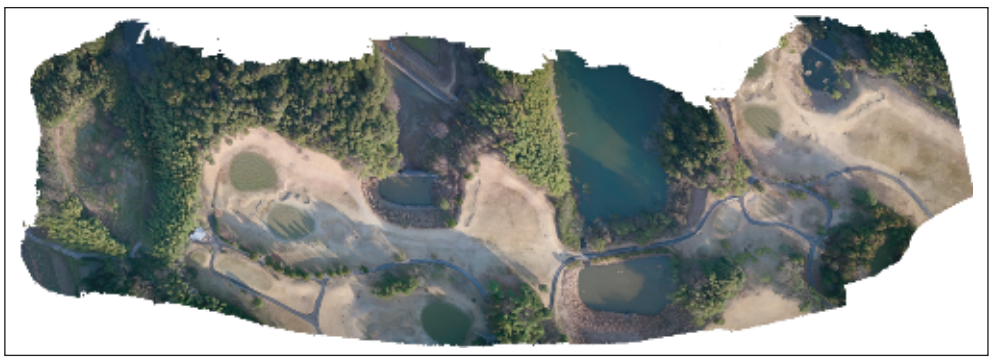
まず、UAVを現場に導入するためには国土交通省の「無人航空機の飛行に係わる許可・承認書」を取得しなければなりません。UAVは電子機器の集合体であることを念頭にしてUAVを安全に運航できるようにマニュアルに即した正しい訓練が絶対に必要である。この許可・承認書の申請時に10時間以上の操縦経験の証明が必要とされているが、現在　操縦訓練の専門的な学校は皆無で、UAVを現場に活用する環境が整っているとは言い難い状況である。今後UAVの導入を検討されておられる諸氏におかれましては、UAVに関する正しい知識と経験を持つ組織で学ばれることを強く推奨致します。

貴重な紙面を使って誠に恐縮でありますが、弊社では平成23年からUAVの開発に着手し、既に測量の現場にUAVを実践導入している。また6月2日に開催される国土交通省主催のドローン計測競技会「EE東北'16」の出場が決定しており大手コンサルタント会社と出場する予定である。

ヤマサ航測　代表
山田　義久（41期生）



UAVを用いた空中写真による三次元点群測量



学校・事務局だより

【卒業・入学】

第46期生の卒業式が、平成27年3月18日、帝国ホテル大阪にて挙行され、52名が卒業しました。式後、同ホテルにて卒業祝賀会を開催し、卒業を祝いました。

第47期生の入学式が、平成28年4月8日、中央区民センターにて挙行され、54名が入学しました。

両式とも、姉妹校である日本写真映像専門学校と合同で行いました。

【資格・免許】

・測量士の申請

母校を卒業して2年の実務経験を経ると測量士の申請が可能です。卒業時に測量士補の登録を行っていれば、修了証明書は不要です。早めの申請をお願いします。

・土地家屋調査士

母校では、土地家屋調査士の資格取得を目指し、東京法経学院大阪校と提携したコースを設置しています。

卒業生も資格取得を目指して同学院に通学または通信教育を希望の場合、学費の割引を受けることができます。詳しくは、本紙広告、ホームページをご覧になるか、同学院へお問い合わせください。

・地方初級公務員

母校では、土木職地方公務員（高卒程度）を目指し、ワークアカデミーと提携したコースを今年度から設置しています。

次年度より、卒業生も受講できます。詳しくは、ホームページをご覧ください。

新入会員紹介（平成27年度卒業生）

【連絡先不明会員】

第33回総会・懇親会案内状を5月中旬に発送いたしました。案内が届かない会員は連絡先不明または宛先不明で返送されていますので、電話・FAXまたはメールにて、事務局へご連絡ください。